

大山田 PA スマートインターチェンジ（仮称）地区協議会

設立趣意書

本市では、社会をとりまく状況が変化する中、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現していくため、3本の柱「防災力の強化」「スマート自治体への転換」「確固たる財政基盤の確立」を軸に据え、まちの魅力向上、市民の皆様の暮らし向上を目指してまちづくりを行っています。

そして、本市は日本の東西・南北を結ぶ交通・物流の要衝に位置し、日本のものづくりの中核である愛知県・名古屋市と三重県をつなぐ結節点になっている地理的優位性を活かし、都市計画マスタープランにて指定された市域北西部に位置する多度南部エリアの産業誘導ゾーンに企業誘致を進めています。しかしながら、東名阪自動車道と産業誘導ゾーンとのアクセスルートは、生活道路への大型車走行や渋滞などの交通課題箇所が存在しており、企業誘致に支障を来しているだけでなく、日常的生活交通の快適性も阻害されています。

そこで、当地区の新たな玄関口として大山田 PA スマートインターチェンジ（仮称）を整備することは、高速道路の有効利用、渋滞の緩和、地域住民の利便性の向上を図ることが出来るだけでなく、企業誘致が促進されることによる雇用創出が図られると共に、当該地域の更なる産業活性化に大きく寄与すると考えています。

さらに、大山田パーキングエリアは高台に位置していることから、災害時に機能する避難路、物資輸送路の確保及び広域避難経路としての利用の大規模災害への対応強化の効果も期待できます。

このため、国土交通省、三重県、三重県警察、中日本高速道路株式会社、関係機関及び本市が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け、必要な検討・調整を行い、供用後も継続して、社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すことを目的として、「大山田 PA スマートインターチェンジ（仮称）地区協議会」を設立するものです。

令和6年7月11日

桑名市長 伊藤 徳宇